埼玉県警察鉄道警察隊発行

鉄警隊NEWS

令和５年
第６号

チカン撲滅のための連絡会議の開催！

令和５年10月23日（月）、ＪＲ東日本大宮支社において、「チカン撲滅のための連絡会議」が、鉄道事業者、バス事業者、県内高等学校等代表31名の参加により開催されました。

各鉄道事業者及び学校による痴漢防止への取組状況や、埼玉県内の痴漢犯罪の現状等の様々な情報を共有したことで、会員間の痴漢撲滅への協力体制が強化されました。

会議の中で皆様に発表して頂いた痴漢撲滅のための取組み等についてご紹介します。

各事業者における取組状況

- 痴漢犯罪防止期間中には駅構内及び車内放送駅電光掲示板等に痴漢についての注意喚起を表示している。
- 盗撮の届出が増えていることから社員の警戒強化に努めている。
- 女性専用車両の本数を増やしている。
- 車内に防犯カメラを設置し、警戒強化して、録画データについては必要に応じて警察に提供している。

痴漢犯罪の現状

９月末現在の鉄道警察隊で把握した痴漢関連犯罪の相談は499件（前年同期比＋144件）で増加しています。

発生傾向は

・朝の通勤通学時間帯（午前７時～８時台）が多い（31％）

・被害者は高校生が最も多い（36％）

・被害場所は車両ドア付近が多い

という状況です。

会議資料には、痴漢被害相談を受けた際の対処法も掲載していますので参考にして下さい。

各学校における取組状況

- 新入生に対し、女子のみでなく男子も含めオリエンテーション時に痴漢犯罪講話を実施している。
- 保護者へも年３回の保護者会で痴漢被害について説明している。
- 保健体育の授業で痴漢被害についても議題としてあげ、グループワークをさせている。
- スクールカウンセラーを常駐させるなどし、被害に遭った時のケア体制を整えている。
- 生徒全員が所持しているタブレット端末に鉄道警察隊作成の動画を入れ、各自確認できるようにしている。

取組状況の説明

痴漢犯罪の現状説明

本会議内において取組内容を共有したことで、他団体の取組みを知り、自己の団体でも取入れるなど、痴漢撲滅に対する意識が高まりました。